

俣郷

～須木中校歌より～

須木中学校通信 第30号

平成28年2月19日発行 文責 寺原

確かな学力・豊かな心・健やかなからだをもち、
未来をたくましく生き抜く生徒の育成

☆ 創作の軌跡 13 ☆

皆さんの作品が、新聞や冊子などいろいろなところで見ることができるようになりました。とても嬉しいことです。3月までに一人1回以上掲載されるといいですね。

学園俳壇

登下校 吐く息白き 冬隣り 野田 悠太
セーターが 僕の心をやわらげる 小河 友樹

学園歌壇

大空の 秋晴れ見ながら手を広げ わたしは鳥と目を閉じ思う 平野 萌香

新春こども文芸

初詣 手合わせ願う 受験生 田尻 波留佳
学校で しめなわ作るのもう最後 わたしも今年は受験生 今重 鈴

学園詩壇

ちよう	岩井 めいな
雨の日	
目の前をちようが舞う	
ひらひらと	
その場を漂うように	
外は雨なのに	
羽が水をはじく	
ぬれながらひらひらと	
つかもうと手を伸ばす	
でもつかまらない	
しばらくして飛んでいった	
ちようが飛んでいくと	
雨がやんだ	
太陽がのぞく	
ちようが太陽をつれてきた	
まるで私を元気づけるよう	
に	
迷った心が吹っ切れた	
私は教室を出た	

みんなの作文

楽しんで

平野 萌香

十一月二十日の西諸音楽大会に須木中学校全校生徒で出場しました。三年生が「いざ立て戦人よ」をアカペラで、次に全校生徒で「この星に生まれて」を歌いました。
小学生の時も二回ほど出場していたのであまり緊張しないと思っていたけれど、中学校の部では小学校とちがう緊張感があつて、一年生の私はとても緊張してしまいました。
舞台裏で待っていると、小学校の時に音楽を教えてくださいました。その一言で緊張もほぐれて、舞台上に立つてからも生き生きと間違えずに歌うことができました。そして、他校の生徒からも「うまかったね。人数が少ないのにすごい。」と言われ、とても嬉しかったです。
来年は二年生です。一年生にしっかり教え、三年生に最高の思い出をつくつてもらおうために頑張つて、今年をこえられるような合唱にしたいと思います。